

[レーシングオン]

www.racingon.com

定価480円 本体457円

2000年11月2日発行 第15巻第26号
昭和61年8月2日 第3種郵便物認可

11.2

NOV.2 2000

480Yen

331

隔週木曜日発行

次号は11月2日発売!

BIWEEKLY MAGAZINE



特集

総括日本GP

そして、決着は鈴鹿でついた

正式発表目前! 独占レポート

**富士スピードウェイを手に入れた
トヨタの本当の狙い**

検証/JGTC美祿

ファイナルバトルへの攻防

カルソニックスカイラインの4年2ヵ月ぶりの勝利で
最終戦へ持ち越されたチャンピオン争いの決着

R'onインタビュー2000

土屋武士

「挑戦は続く」

エンジンに秘密があった!

GTスーパー開発秘話

レギュレーションに対応するために

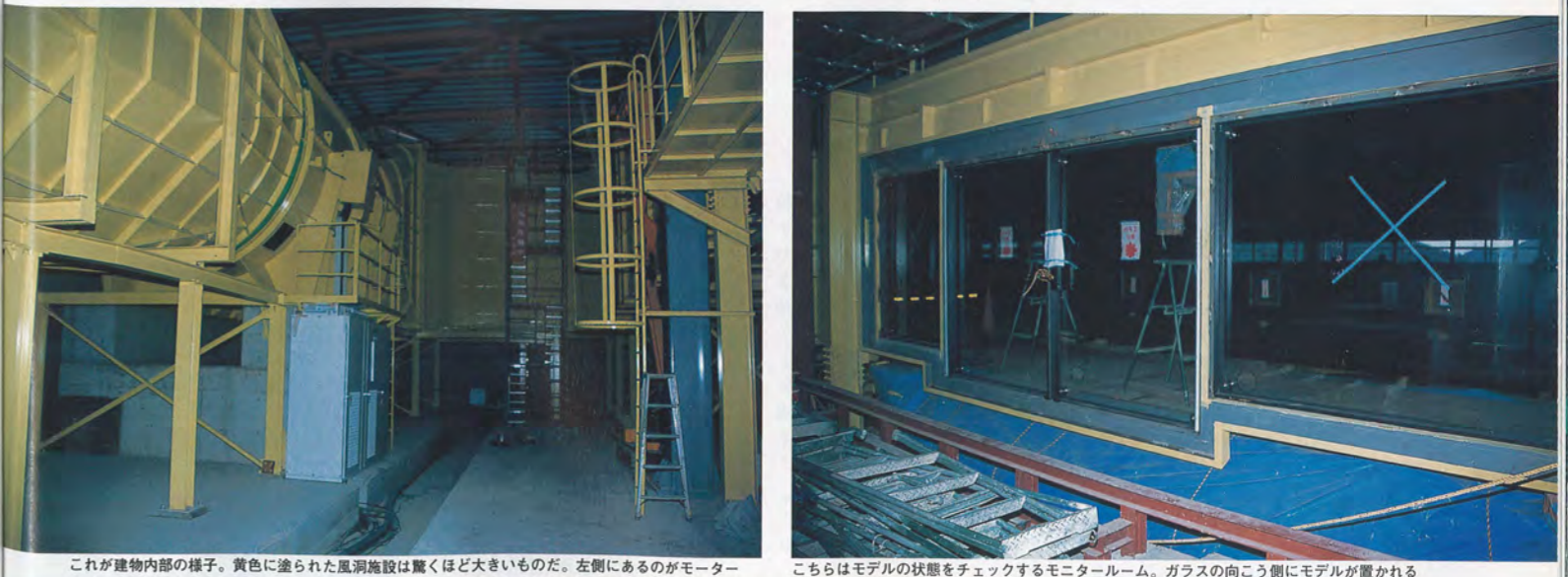
WRCツールド・コルス/プジョー206、WRC初の1-2フィニッシュ
CARTヒューストン/トヨタがロードコース初優勝を1-2で飾る
DTMニュルブルクリンク/ロイター2連勝! しかしシュナイダーが王座獲得



童夢の野望は続く

DOMÉ それは驚くべき規模だった！
新50%風洞実験施設の建設現場に潜入

日本を代表するレーシングカー
コンストラクターとして
独自の道を進む童夢が建設を進める
巨大な風洞施設に潜入
これはとんでもないものができそうだ
Text/Makoto Ogushi



これが建物内部の様子。黄色に塗られた風洞施設は驚くほど大きいものだ。左側にあるのがモーター

こちらはモデルの状態をチェックするモニタールーム。ガラスの向こう側にモデルが置かれる

それは米原にあった

童夢がとんでもないものを作っている。といっても、F1グランプリカーでもル・マン用スポーツカーでもない。いや、少なくともル・マン用スポーツカーは開発中らしいが、今回はクルマの話ではない。現在、着々と完成に近づきあるそのとんで

もないものとは、50%風洞実験設備である。我々はF1日本グランプリの翌日、北陸自動車道米原インター近くの工業団地へ向かい、建設中の風洞実験設備取材した。予備知識はあったものの実物を目の当たりにして、その偉容には呆然とせざるを得なかった。

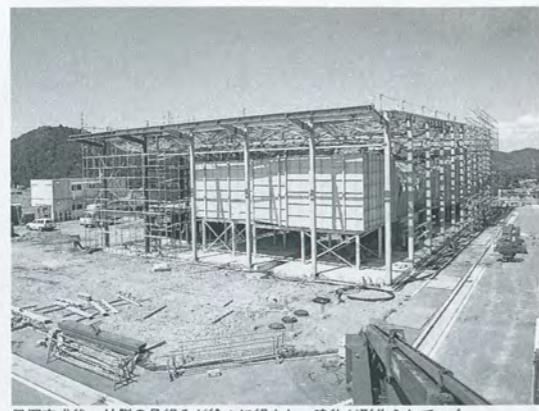
ほとんどの読者は実験室とした部屋に置かれた大型の模型と、そこを流れる白煙の筋を思い浮かべることだろう。新たに童夢が建設を進めている50%風洞実験施設も原理は何ら変わることはない。だが、その規模が違ふ。

本誌でも童夢の風洞実験施設は何度も誌面で紹介してきた。従来童夢が運用してきた風洞実験施設は「25%風洞」と呼ばれるもの。つまり、実車の25%すなわち4分の1の縮尺で制作した模型を実験するための設備だった。

とはいえ、一般に市販されている大型自動車模型の標準的な縮尺が12分の1であることを思えば、4分の1の模型はかなり巨大なものだ。なにしろ実験用の模型の製作費は、高級外国車の実車1台分に至ることもあるというのだ。

新しい50%風洞は5月20日に着工7月に入ってまず風洞本体の組み立てが始まり、8月には建物も建設が始まった。9月半には送風機やムービングベルトを含む風洞本体が完成。現在は10月いっぱいでの竣工を目指して建物の建設作業が急ピッチで進みつつある。これだけの風洞が何に使われるのか気になる。だが、奥氏によれば「外部顧客を含め、いろいろ仕事はありそう」ということだった。

11月27日、公式に竣工披露が行われたころ、改めてこの興味深い施設をじっくりと解剖してみよう。



風洞完成後、外側の骨組みが徐々に組み立てられ、建物が形作られていく



モーターの内径は4.3m、これだけのものを回すには大容量の電力が必要だ



建設初期段階の様子。最初に風洞設備が組み立てられ、その後建物が組み立てられた



これが特注のモーター。最大風速60m/秒という大容量だけにとにかく大きい

林みのる社長でさえも驚いたその規模 この中に童夢の未来が詰まっている

童夢の林みのる社長は50%風洞建設着手を発表する際、こう言っている。「レーシングカー開発技術を競い合っているコンストラクターの世界では、50%スケールの風洞実験設備は必要不可欠な武器であり、大げさではなく50%の風洞を建設するレーシングカーコンストラクターをやるかというレベルの問題です。も

童夢の林みのる社長は50%風洞建設着手を発表する際、こう言っている。「レーシングカー開発技術を競い合っているコンストラクターの世界では、50%スケールの風洞実験設備は必要不可欠な武器であり、大げさではなく50%の風洞を建設するレーシングカーコンストラクターをやるかというレベルの問題です。も



風洞内部のファンは最適な形状に設計されている



左側の下に見えるのが精巧に作られたムービングベルト